



2026 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 CGS ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 塩 田 聖 一
(コード：6 6 3 3 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理統括部長 小 島 利 幸
(TEL. 093-642-4511)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり資本コストや資本収益性について現状を評価・分析し、改善に向けての取組み方針について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 現状評価

直近 5 年間の ROE、PBR、期末株価の推移は以下のとおりです。

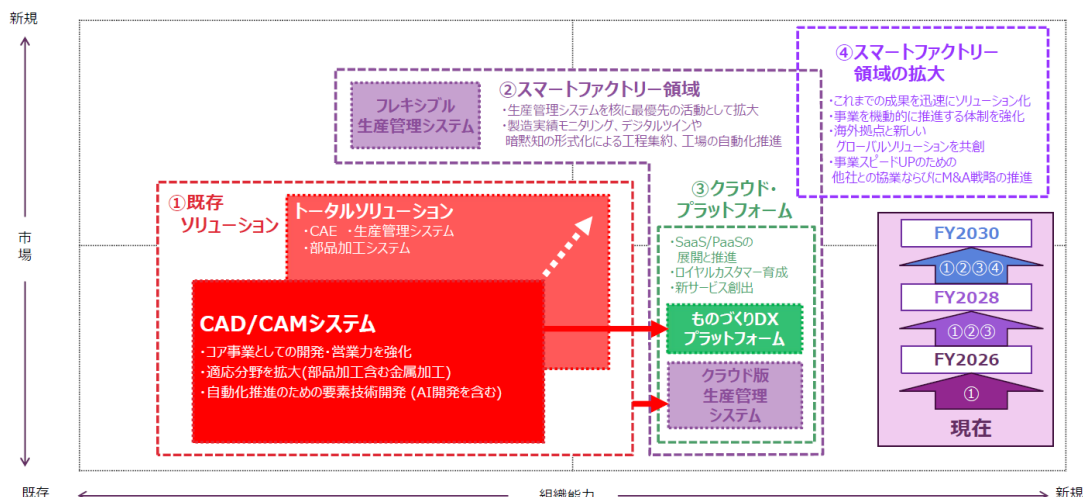
	2021 年 12 月期	2022 年 12 月期	2023 年 12 月期	2024 年 12 月期	2025 年 12 月期
ROE	8.1%	10.1%	2.2%	3.9%	8.1%
PBR	1.09 倍	1.11 倍	0.95 倍	0.86 倍	1.03 倍
期末株価	320 円	356 円	308 円	290 円	363 円

当社グループの主力事業である CAD/CAM システム等事業については、2023 年第 3 四半期に底を打って以降、2024 年、2025 年と回復が続いたこと、また後述のとおり CAD/CAM 関連事業を営む新設会社をグループ化したことにより収益が拡大し、増収増益となりました。また金型製造事業においても、2024 年下期から 2025 年上期にかけて受注動向が良好だったことにより大きく収益に貢献した結果、連結業績においても増収増益となり、ROE は 8.1%まで回復しました。PBR についても 1.03 倍と、1 倍を下回った前年同期と比較して改善しておりますが、株価は引き続き割安な水準で推移しているものと認識しており、当社グループの中長期的な戦略、成長性について株主および投資家の皆様からの十分な理解、評価を得られていないことが要因であると考えております。

2. 改善に向けた今後の方針

当社は 2025 年 1 月 17 日付「純粋持株会社体制への移行に伴う会社分割（新設分割）による子会社設立および単独株式移転による中間事業持株会社の設立ならびに株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・エンジニアリングシステムズ【以下「NTTD-ES 社」】の吸収分割会社（予定）【以下「NDES 社」】の株式取得（子会社化）に関するお知らせ」に記載のとおり、より一層の経営のスピード化を図り、機動的かつ柔軟な経営判断を可能にするグループ運営体制を構築し、グループガバナンスのさらなる強化を図るため、純粋持株会社体制に移行いたしました。また傘下に中間事業持株会社および CAD/CAM 中核子会社 2 社を保有するグループ体制を構築するための組織再編についても 2025 年 10 月 1 日付で完了し、CAD/CAM 業界トップシェアの企業グループとなりました。今後は CAD/CAM メーカーとしての技術革新を中核に据え、「製造業 DX インテグレーターへと進化」することで、すべてのお客様および未来の日本の製造業を広く支えるとともに、培った日本のモノづくり技術を東アジアや ASEAN 地域に浸透させ、市場の多角化を図り、その後、欧米市場へのグローバル展開を進めていきます。

(1) イノベーションストリーム:CGS グループが目指す「製造業 DX インテグレーターへの道筋」



当社グループが「製造業 DX インテグレーター」として、CAD/CAM 業界で培ってきた強みを生かしながら新たな価値を創造するためのロードマップは以下のとおりです。

既存のコア事業である CAD/CAM システムにおいては、AI 活用による自動化や CAE、生産管理システム、部品加工システム等を含めたトータルソリューション化を推進し、さらなる開発・営業力を強化します。これに加え、生産管理システムを核としたスマートファクトリー領域では、デジタルツインによる工場の「見える化」や工程集約を通じ、高度な自動化を実現します。また SaaS/PaaS 型の「ものづくり DX プラットフォーム」を提供することで、既存システムのクラウド化や新サービスの創出、ロイヤルカスタマーの育成を図ります。さらにスマートファクトリー領域を拡大しこれらの戦略を統合し、グローバルソリューションの共創・展開および他社との協業、積極的な M&A を推進することで、事業成長を加速させてまいります。

これらの活動を推進した上での短期および中長期の事業計画目標は、以下のとおりです。

短期(～2028 年)事業計画目標

組織再編に伴い金型 CAD/CAM 業界のトップシェアの優位性を活かして、生産管理システム事業の強化と共にシナジー戦略を推進し、グループ全体で売上高 70 億円企業を目指す。

中長期(～2030 年)事業計画目標

CAD/CAM 事業を中核に、新規事業強化戦略の一環として CGS グループの拡大を積極的に実施し、グループ全体で売上高 100 億円企業を目指す。

(2) 安定的な株主還元

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要施策の一つとして位置づけており、これまでも安定的な配当の継続を基本方針として株主還元を行ってまいりました。今回の組織再編以降もその位置づけは変わらず、企業体質の強化と将来の事業展開の内部留保の充実を図りながら、今後も配当性向 40%を目安に安定的な株主還元を継続します。

(3) IR/PR の継続・強化

これまで実施してきた IR/PR 活動を継続・強化することで当社グループの認知度向上を図ります。純粋持株会社として、グループ各社の情報を適切に発信するとともに、これまでと同様、決算説明動画配信による経営情報の発信、機関投資家との対話の継続・強化と経営幹部への適切なフィードバックを行っていきます。またホームページについては持株会社制への移行に伴いリニューアルを実施しました。今後も中長期の成長戦略を含めた開示情報のさらなる充実、積極的な発信に努めてまいります。

以上